



クリッポ 35HMB-IS 取付説明書

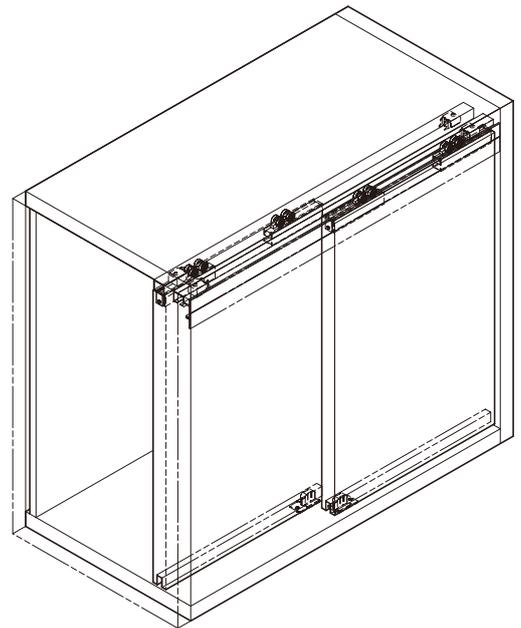
■施工する方へのお願い

このたびは、EKU製クリッポ 35HMB-ISをご採用いただき、誠にありがとうございます。
取付前に本書をよくお読みいただき、正しく施工いただくようお願いいたします。

⚠警告

誤った取り付けは、施工時だけでなく使用時に思わぬけがをする恐れがあります。
本書の説明、注意事項をお守りください。

- 本書は、クリッポ 35HMB-ISの取付説明書です。
- 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。
- 施工中に発生した木材のかすがレールの中に残らないようにきれいに取り除いてください。
- タッピンねじは、最も近い呼びのねじをお使いください。
- 板の小口にタッピンねじを使うときは、板が割れないよう下穴を開けるなどの処置を行ってください。



本書は、ひとつのキャビネットに本製品を取り付けることを想定したうえで、もっとも安全かつ効率的に取り付けできると思われる方法を記載しました。

したがって、必ずしも取り付けの順序や方法を規制するものではありません。

家具メーカー様におかれましては、専門家としての確たる工程をお持ちと考えますので、この説明書に記載された方法にとらわれず、施工される方の専門技術とご経験に基づいて製作してください。

その場合でも、必ず事前にこの取付説明書に一度目を通してくださるようお願いいたします。

この取付説明書で使っている寸法は、加工や組立による誤差や材料そのものの変形等を考慮しておりません。作業においては、このことをご考慮のうえ、切断等の加工を行ってください。

■取り付けできる扉

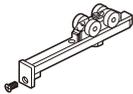
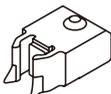
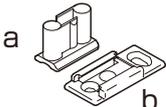
扉質量	35kg以下 (扉1枚当り)
扉厚	22~35mm
扉寸法	幅1000mm以下 高さ2400mm以下

■この説明書で使う工具と準備していただくもの

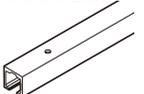
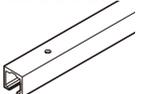
- ・ 十字ねじ回し 2番
- ・ 六角棒スパナ 呼び3
- ・ 片口または両口スパナ 呼び8
- ・ アルミニウム合金型材を切断できる機械または工具
- ・ 十字穴付皿タッピンねじ3×20
- ・ 十字穴付皿タッピンねじ3.5×20
- ・ 十字穴付皿タッピンねじ3.5×35

■部品

以下の品番が記載された袋に入っています。

部品セット		53-3100-082	
①上ローラー  2ヶ	②ストッパー  2ヶ	③インナーパーツ 全長100mm  2ヶ	④下ガイド  1組
⑤取付ねじ 十字穴付皿タッピンねじ3×12 2ヶ			

■必要な部品

⑥上レール 幕板付 長さ2500mm 【品番】 53-3070-250  ピッチエンド：約50mm 穴ピッチ：約150mm	⑦上レール 幕板付 長さ3500mm 【品番】 53-3070-350  ピッチエンド：約50mm 穴ピッチ：約150mm	⑧上レール 面付用 長さ2500mm 【品番】 53-3069-250  ピッチエンド：約50mm 穴ピッチ：約150mm	⑨上レール 面付用 長さ3500mm 【品番】 53-3069-350  ピッチエンド：約50mm 穴ピッチ：約150mm
⑩ガイドレール 長さ2500mm 【品番】 53-3014-250 			

■寸法図

- (1) この説明書で使う長さの単位は、すべて mm (ミリメートル) です。
- (2) この説明書で使う「左右」は、キャビネットを正面から見たときの、「向かって」をいいます。
- (3) この説明書で使う「前後」は、(2) 扉を同じ位置から見たときに、こちら側を「前」、向こう側を「後」といいます。
- (4) 本書は、エク・クリッポ・35 HMB-IS の説明書です。
 図 1-2 には、2種類の例をご紹介します。いずれの例も、前後の扉のすきまは 10 mm にしてください。この場合のレール同士のすきまのは、(扉の厚み-9.5) です。

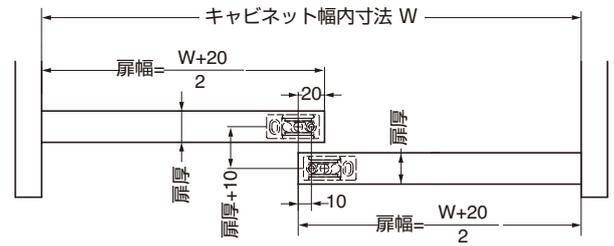


図 1-1

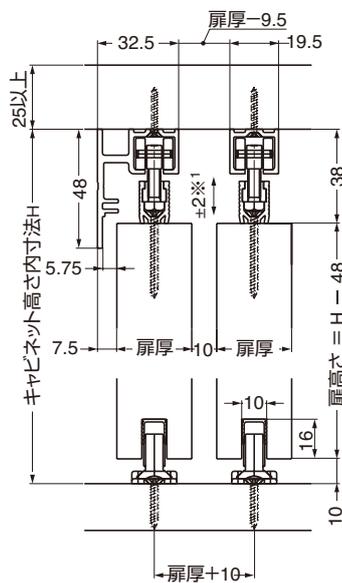
- (5) 扉の厚みが 30 を越えるときは図 1-2 左のように、扉の上面にインナーパーツ③を面付けでねじ止めしてください。

1.寸法の表し方 (図 1-1～図 1-3)

(1) 寸法記号

- [1] H: キャビネットの高さ内寸法
 [2] W: キャビネット幅内寸法

上レール (幕板付) (⑤または⑥) と
 上レール (面付用) (⑦または⑧) 使用時



上レール (幕板付) (⑤または⑥) 使用時

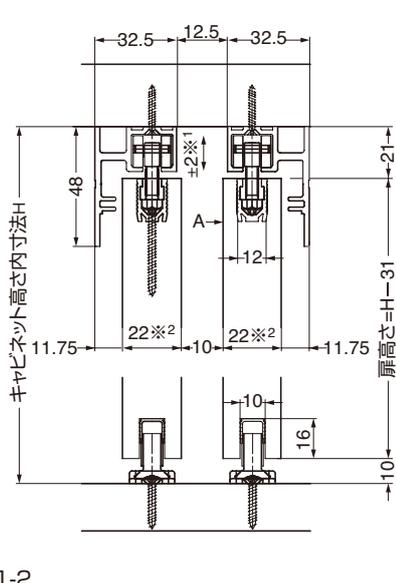


図 1-2

矢視A

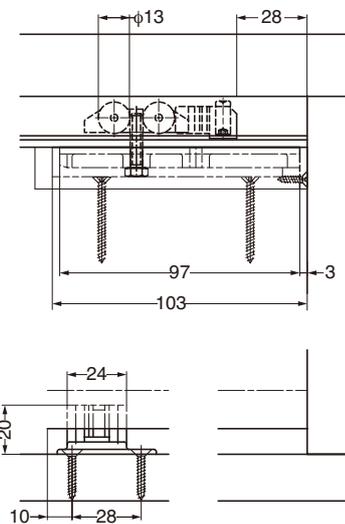


図 1-3

※¹ 扉の高さは上下あわせて4mmの範囲で調整できます。

※² 扉に掘込加工をしてインナーパーツ③を取り付け、上レール (幕板付) (⑤または⑥) に吊り込む場合は、扉厚を22mmに限定してください。

2. 各部の寸法

- (1) キャビネットの天板の厚みは、25 mm 以上にしてください。
- (2) 扉の寸法
 - [1] 厚み
22 mm 以上の木製としてください。
 - [2] インナーパーツ③を埋め込むときおよび扉の厚みが 30 mm 以下のとき、扉の上の両側には、図 1-4 のような加工をしてください。
 - [3] 扉の厚みにかかわらず、扉の下面には、同図下のように加工してください。

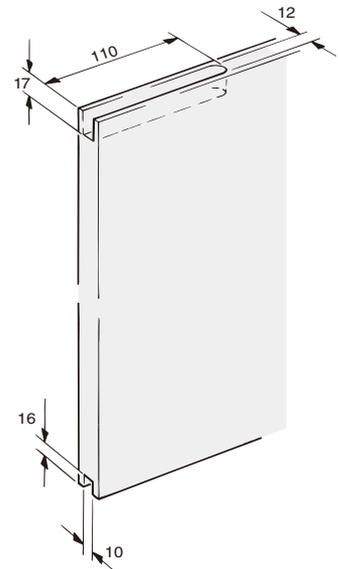


図 1-4

3. キャビネットの前加工

- (1) キャビネットの底板の2枚の扉の走路の中心に、下ガイド④(後述)を取り付けるための下穴をあけてください(図 1-5)。

4. 扉には、下端にガイドレール⑨の溝を設け、そこにガイドレール⑨を組み込んでください。
5. 完成後のキャビネットを運ぶときは、扉を開かないように固定してください。
6. レールの内側を、常にほこりやごみがないように、清掃してください。

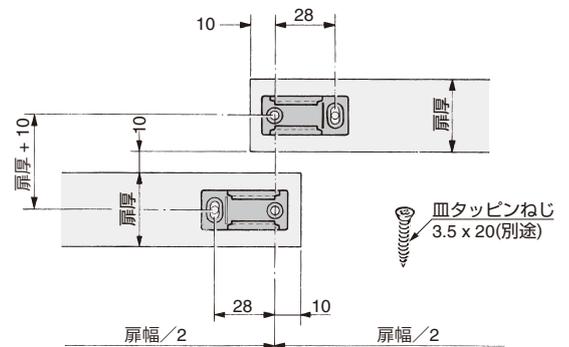


図 1-5

■作業手順

①上レールを切断します。

上レール(⑤~⑧)を寸法W(キャビネット幅内寸法)で切断してください。
切断後、取付穴が上レールの端から50mm以上離れたときは、50mmの位置に径4mmの穴をあけてください。

②上レールを固定します。

- (1) 上レール(⑤~⑧)に上ローラー①とストッパー②をとおしてください。
- (2) ストッパー②は動かないように粘着テープ等で仮止めしておいてください。
- (3) 上レール(⑤~⑧)をキャビネットの天板に固定してください。(図 1-2)

③扉に金物を取り付け、上レール(⑤~⑧のどれか)を吊ります。

(1) 扉の溝にインナーパーツ③を置いてください。
扉の端とインナーパーツとは(図2-2)の位置にしてください。

(2) インナーパーツ③を図2-2のねじで固定してください。

(3) 上ローラー①に差し込んで、扉を吊ってください。

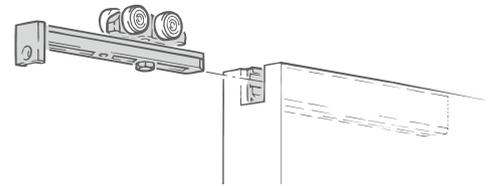


図 2-1

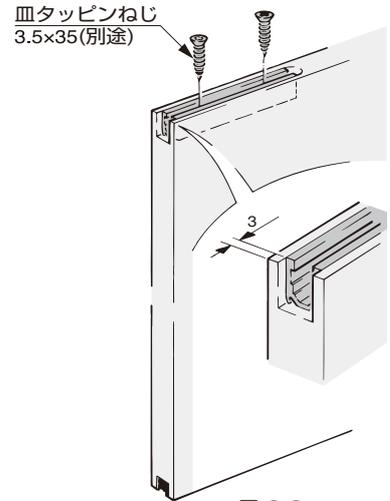


図 2-2

(4) 高さの調節を、図2-3のように行ってください。

(5) 上ローラー①の戸端のねじを締めてください。

(6) 下ガイド④bに、下ガイド④aを組み込んでください(図2-4)。

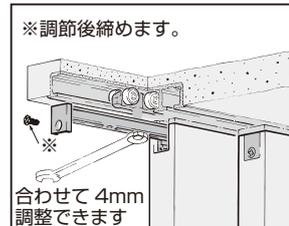


図 2-3

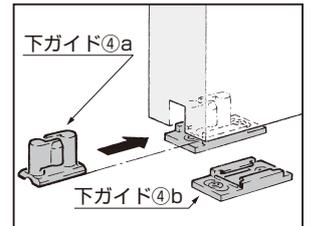


図 2-4

(7) 下ガイド④の調整は、図2-5のように行ってください

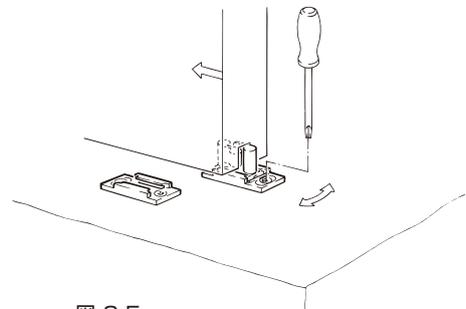


図 2-5

□

4 扉の外し方

(1) 下ガイド④aをねじ回しで、扉の反対方向の奥へ押し込んでください。下ガイド④aが下ガイド④bからはずれません(図2-6)。

(2) 扉を吊った順序と逆の手順で外してください。

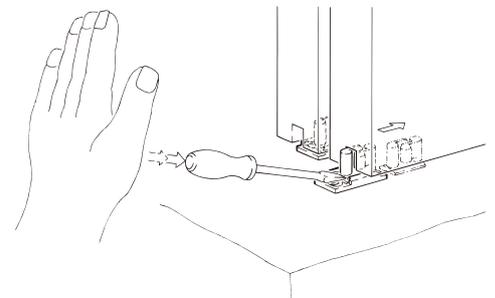


図 2-6

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせいたします。

アーキテクトサポート室 電話番号 **03 (3864) 1122**
受付時間 **月~金 9:00~17:30** (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03 (3863) 6875

E-mail: support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE **スガツネ工業**
LAMP印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384)・ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001:国内各拠点 ※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
<http://www.sugatsune.co.jp/>